

ぼくのふるさと～山添村～

山添村立山添中学校 2年 北村 啓

小学校2年生に進級と同時に、ぼくは今住む山添村に引っ越して来ました。ぼくの祖父母が住んでおり、何回か遊びに来たことがあったのですが、いざ引っ越しとなると、不安なことがたくさんありました。

人口が少ない、コンビニエンスストアが1軒もない、スーパーもない、森だらけ、虫がいっぱいなどのことです。

住んでみると、買い物は隣の町に車で出かけなければならないなど、やはり不便でした。

しかし、山添村には素晴らしいところがあることがわかってきました。

一つ目は、地域のみんなで協力しているということです。

ぼくの祖父母や地域の方々はお自分の畑でたくさんの種類のとてもおいしい野菜をつくっています。作った野菜をあげたり、もらったりしています。普段から

「大きいきゅうりがどっさり取れてん。持って行って。」

「ありがとう。うちもな、どっさり取れてん。あ、オクラちょうだい。」

「ええで、好きなだけ持って行って。」

といったような会話を耳にします。自然にあげたりもらったりできるのは、人口が少なく、スーパーのない山添村だからだと、ぼくは思います。やさしさが習慣になっている村民の方々はずごいと思います。

また、

「お父さんの調子、最近どうや。」

「私、最近腰痛いねん。」

といったこともよく耳にします。このようなプライベートな話ができるのも、お互いのことを信頼しているからです。

二つ目は、学校の設備が充実しているということです。ぼくの通う山添中学校では、最新の設備がたくさんそろっています。プロジェクターやタブレット端末、全教室冷暖房完備、LED照明の使用などといった素晴

らしい設備です。

また、図書室の本は図書ボランティアの方々の協力もあり、定期的に新しい本が入り、充実しています。

さらに、トイレの改修も行われ、学校のトイレとは思えない、まるでホテルのトイレのようなデザインでとてもきれいです。

山添村は、ぼくたちが勉強しやすいように様々なことを行ってくれています。このことに感謝しなければいけません。

三つ目は、様々な村のイベントがあるということです。

5月に行われるつつじ祭りや11月に行われる村まつりは、村民の方と村外の方との交流の場となり、山添村を活気づけています。

また、布目ダムで行われるマラソン大会やカヌー体験、村のホールで行われる夏休みの映画鑑賞など、子どもも楽しめるイベントが数多くあります。

まだこの他にも、山添村のよいところ、素晴らしいところはたくさんあります。ぼくは山添村に住み、初めて良さに気づきました。

今、山添村の課題として「人口減少」があります。ぼくが50歳になるころには、村の人口が大幅に減り、山添村は廃村してしまっているかもしれません。村民の減少を食い止めるためには、どんどん山添村の良さをPRしていかなければならないと思います。

村民が協力して、世界中の人に素晴らしい山添村を発信し、山添村に人を呼びこみたいのです。

ぼくの大好きなふるさと、山添村を守るために……。